

新たなフォーミュラシリーズ「FIA-F4」を2015年から開催

2014年8月29日

株式会社GTアソシエーション

株式会社GTアソシエーション（GTA、坂東正明代表取締役）は、2015年からSUPER GTシリーズのサポートレースとして新たなフォーミュラシリーズ「FIA-F4」（FIA-フォーミュラ4地方選手権）を国内7大会・14レースの予定で開催する。同シリーズは日本の「レース物づくり」産業の活性化を支援する特定非営利団体日本自動車レース工業会（JMIA、大岩湛矣会長）の会員である株式会社童夢（鮎子田寛代表）が製作したシャシーに株式会社トムス（大岩湛矣取締役社長）が開発したエンジンを搭載する車両によるワンメーカーレース。GTAとJMIAは同シリーズの展開を通じて「日本のモノづくり」を支えるとともに、次代のレース界を担う若手ドライバーの育成を推進する。



「F110」

FIA-F4は国際自動車連盟（FIA、ジャン・トッド会長）がレーシングカートからF3へのステップアップを目指す若手ドライバーの育成を主な目的として世界各国で展開を目指す新たなカテゴリー。

フォーミュラレースの入門カテゴリーに位置付けられる同シリーズには、車体価格（税抜€38,000＝約¥5,320,000）とエンジン価格（1年リースで税抜€7,500＝約¥1,050,000）にコストキャップが設けられると同時に、エンジンのライフ（10,000km保証）や出力規制（最高115kw＝約160ps）が設定されるなど、参戦コストを抑制する仕組みが設けられておりモータースポーツの門戸を広げる効果も期待されている。

既にイタリアでは ABARTH 製エンジンを搭載した TATUUS 製車両によるワンメイクシリーズが今シーズンから開催されており、2015 年からは日本のほかにイギリスやドイツなどでのシリーズ創設が計画されている。

FIA-F4 シリーズ概要

2015 年は SUPER GT 国内 7 大会のサポートレースとして開催予定。1 大会 2 レース制（公式予選 1 回）を採用し、レース距離は 60km とする。

日本国内で開催される FIA-F4 は JMIA が製作した「F110」のワンメイクレース。また、車両規則は 2015 年から 2019 年の 5 年間は固定（変更なし）される。ドライバーの参加資格は「限定国内競技運転者許可証 A」以上、「国際ドライバーライセンス B」以下のライセンス所持者。ただし、2012 年～2014 年に GP2、SUPER FORMULA、FORMULA NIPPON、F3 のいずれかのレースにおいて 3 位以内に入賞した者は参加できない。

得点基準は日本自動車連盟(JAF)地方選手権の下記得点基準表を採用。また、有効ポイント制（80%＝14 戦中 11 戦をカウント）を採用する。

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
得点	20 点	15 点	12 点	10 点	8 点	6 点	4 点	3 点	2 点	1 点

若手ドライバー育成プログラム（予定）

将来的には同シリーズの成績優秀ドライバーに対し、自動車メーカーや GT300 参戦チーム、F3 参戦チームなどが採用・育成条件を提示のうえで有望選手の獲得を目指す「スカウト制度」や GTA 独自の若手育成プログラム「SUPER GT アカデミー（仮称）」の開設なども検討。さらに、若手ドライバーの育成のみならず若手オフィシャルの育成についても同シリーズの運営を通じて実現する。

シリーズプロモーション（予定）

本シリーズのプロモーションに当たっては、各種メディアを通じてレース中継・結果などの積極的な露出を目指す。また、新たなファンづくりにつながる GTA ならではのプロモーション活動を各方面に展開していく。

2015年カレンダー（予定）

第1戦～第2戦	4月4日（土）～5日（日）	岡山国際サーキット
第3戦～第4戦	5月2日（土）～3日（日）	富士スピードウェイ
第5戦～第6戦	5月30日（土）～31日（日）	オートポリス
第7戦～第8戦	7月25日（土）～26日（日）	スポーツランドSUGO
第9戦～第10戦	8月8日（土）～9日（日）	富士スピードウェイ
第11戦～第12戦	8月29日（土）～30日（日）	鈴鹿サーキット
第13戦～第14戦	11月14日（土）～15日（日）	ツインリンクもてぎ

※ 「F110」の画像は9月5日まで下記URLからダウンロードいただけます。
(<http://urx.nu/bmJ9>)

本件に関するお問い合わせ先
株式会社GTアソシエーション
レース事業部 服部 得田 沢目
TEL : 03-6426-2501